

(様式保第16号の1)

物上保証人に係る念書

年 月 日

独立行政法人農林漁業信用基金 殿

被保証者

住 所

氏 名

⑩

根抵当権設定者

住 所

氏 名

⑩

貴基金の債務保証により、被保証者 (以下甲という。) が、融資機関 (以下乙という。) から既に借入れ若しくは今後借入れする債務 (手形割引により生ずる債務を含む。以下借入債務という。) を担保するため、 (以下丙という。) が乙に対し根抵当権 (年 月 日 法務局 支局 (出張所) 受付 第 号極度額 千円) を設定しましたが、これに関し次のとおり確約いたします。

- 1 丙が甲に代わって乙に借入債務を弁済し、その他自己の出捐によって当該債務を消滅させ、または、標記の根抵当権が実行されても、丙は、貴基金に対し乙に代位し何等の求償権を行使しません。
- 2 丙は、貴基金の請求があったときは、標記の根抵当権について、直ちに元本確定の登記手続きを行います。
- 3 貴基金が保証債務を履行したときは、貴基金は、民法第501条第3項第4号但書の規定にかかわらず標記の根抵当権の全部について代位し、貴基金が代位弁済によって、取得した求償権の範囲内で乙が有していた一切の権利を行使することについて了承します。